



## ACPと当院の取り組み:医療技術部部长 村井善郎



人生の最終段階の治療・療養について、患者、家族と医療従事者が、あらかじめ話し合う自発的なプロセスがACP(Advance Care Planning)です。患者さんの尊厳を守る考法の一つといえるでしょう。ACP施行のため、患者の同意のもと話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアに関わる人々の間で共有されることが望ましいとされています。ACPは、基本的に本人の意思や価値観が尊重されるものですが、意思決定能力を失った時にどう対処するかが重要で、患者さんの意思をよく理解した代理決定者を決めておくことが大切です。当院では入院時、医師、看護師等他職種でACPを確認し、入院時ACPがされているかを、複数の職種で確認しています。また経鼻胃管中止などの重要な治療方針変更時には、家族だけでなく、複数の医療者で確認し、書類に残す必要性が確認されています。



## 「清瀬もしバナ会」

当院ホスピス緩和ケア病棟に携わるスタッフが中心となり「清瀬もしバナ会」を結成。地域の皆さんと一緒に、もしもの時のことを考える機会をもちたいと願い、定期的にもしバナゲーム体験会をおこなっています。

## 「第1回もしバナ体験会」

10月の過日、第1回もしバナ体験会を開催しました。「もしバナゲーム」はカードを使ってもしもの時のことを考えてみよう、話してみよう、というゲームです。26歳から88歳までという年齢だけでなく、性別、家族構成、暮らしのスタイルなど個々に異なる人々が参加してくださいました。参加者の皆さんからは「最期の時について考えることは、今生きていることを考えることなのだと感じた」「家族の顔が浮かんできて大事なことを決めておかなきゃ、とおもった」などのご感想をいただきました。

参加者もスタッフもともに、たいへん楽しく有意義な時間になりました。



# 第1病棟

## 医療療養病棟

空が高く、雲一つない穏やかな秋晴れが続くこの時期は、散歩に出るのに絶好な気候です。

この日はリハビリの終わりに、病院の敷地内をお散歩しました。患者様も背中越しに降り注ぐぼかぼかの日差しにうとうとしながら、真っ青な空に目を向けられていました。



# 第2病棟

## 介護療養病棟

### チャペルタイム 参加者の声

優しく包み込むような音色が響き渡る教会で毎週水曜日にチャペルタイムを実施しています。その「声」は、とても心地が良く心が洗われる、そんな気分になさしてくれます。病棟からもご希望される患者様が参加されています。

患者様の声を聞かせて頂きました。

「チャペルタイムはとても良かったよ。小学校から救世軍の教会に通っているのだから懐かしさもあり、気持ちが落ち着く。次も行くよ。」

「良い話を聞くと気持ちがスッキリします。」

チャペルタイムに参加する理由は、ひとそれぞれ。ひとりひとり、思い思いに。その言葉がぴったりの時間です。





## ホスピス緩和ケア病棟

### 「緩和ケア週間の活動」



緩和ケアの象徴のオレンジバルーンを病棟の入口にたくさん飾りました。オレンジバルーンには暖かい色であるオレンジに、すべての苦痛症状をほんわりとやわらげたいという思いが込められているそうです。また、スタッフや患者さん、ご家族にもお願いして、各々の夢や希望をカードに書き、ウィッシュツリーに貼ってゆき、実りあるツリーが完成しました。

緩和ケア週間の活動の一環として、もしバナ体験会の動画を作成しました。QRコードからアクセスしてご覧ください。



## 2023 年召天者合同記念会



今年は、2022年のご召天者を対象に、コロナ後初、4年ぶりに、対面で催させていただきました。ご出席された方は、故人を偲びたい想い、感謝を伝えたい想い、故人の存在の大きさに気づいて、まだまだ悲嘆の中にいる想い、様々な想いを持っておいでくださいました。

病棟スタッフとご遺族様が対話されている様子や、ご遺族様の「参加してよかった」という言葉に触れ、皆で祈り偲ぶ場の大切さ思い、対面で催せた恵みに感謝しております。人生のとても大事な時を歩まれるご遺族様と、少しの時間でしたが、ご一緒できたことに感謝しております。



## 救世軍清瀬病院 介護医療院 “シャロン” 2024年2月開設 予定

シャロンは、地中海に面した、イスラエルの地名の一つです。砂漠の多い地形の中で、草木が生え、花が咲く地域として、聖書の時代には、希望の地の象徴としてこの地名が用いられました。人々は、ここを薫り高い花が咲き、羊の群れが養われる安らぎの地として慕いました。(聖書「イザヤ書65章10節」)

この度、介護医療院を開設するにあたり、スタッフたちは緊張感をもって準備をしています。長く続いてきた救世軍清瀬病院の理念を受け継ぎつつ、なお、ご高齢の利用者さんの生活の潤いの場所になるように願いつつ、この名前を付けさせていただきました。



シリーズ連載

### チャプレンの窓

クリスマスも近づき、年の瀬の慌ただしさとは逆に、なんだか待ち遠しいウキウキした気持ちになってきます。クリスマスシーズンは宗教を越えて、人の心を暖かく彩ってくれますね。

クリスチャンにとっては、イエスの降誕を待ち望むこの時期ですが、“待ち望む”気持ちは、人を勇気づけ、力を与えてくれます。目に見える肉体だけでなく、人の気持ちや心もまた、生きることを支えてくれるものであることに気づかされます。



## 一緒に働く仲間を募集しています！



救世軍清瀬病院では、一緒に働く仲間を募集しています！

職種や部署に関係なく、互いに支え合いながらチームケアをおこなっている当院で看護師・介護福祉士など、資格を活かしながら働いてみませんか？

お気軽にお電話にてお問い合わせください。 TEL:042-491-1411 人事担当宛



## ホスピス・療養病棟の入院問い合わせは 医療相談室までご連絡ください。

# TEL: 042-491-1412

 (月～土 9:00～17:00)

## 救世軍清瀬病院

The Salvation Army Kiyose Hospital

## TEL: 042-491-1411

〒204-0023 清瀬市竹丘1-17-9

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。詳しくはホームページをご覧ください。

